



難波の梅小だより

学校通信NO. 9
平成30年11月30日
難波の梅小学校

学力調査臨時号

難波の梅小ホームページアドレス

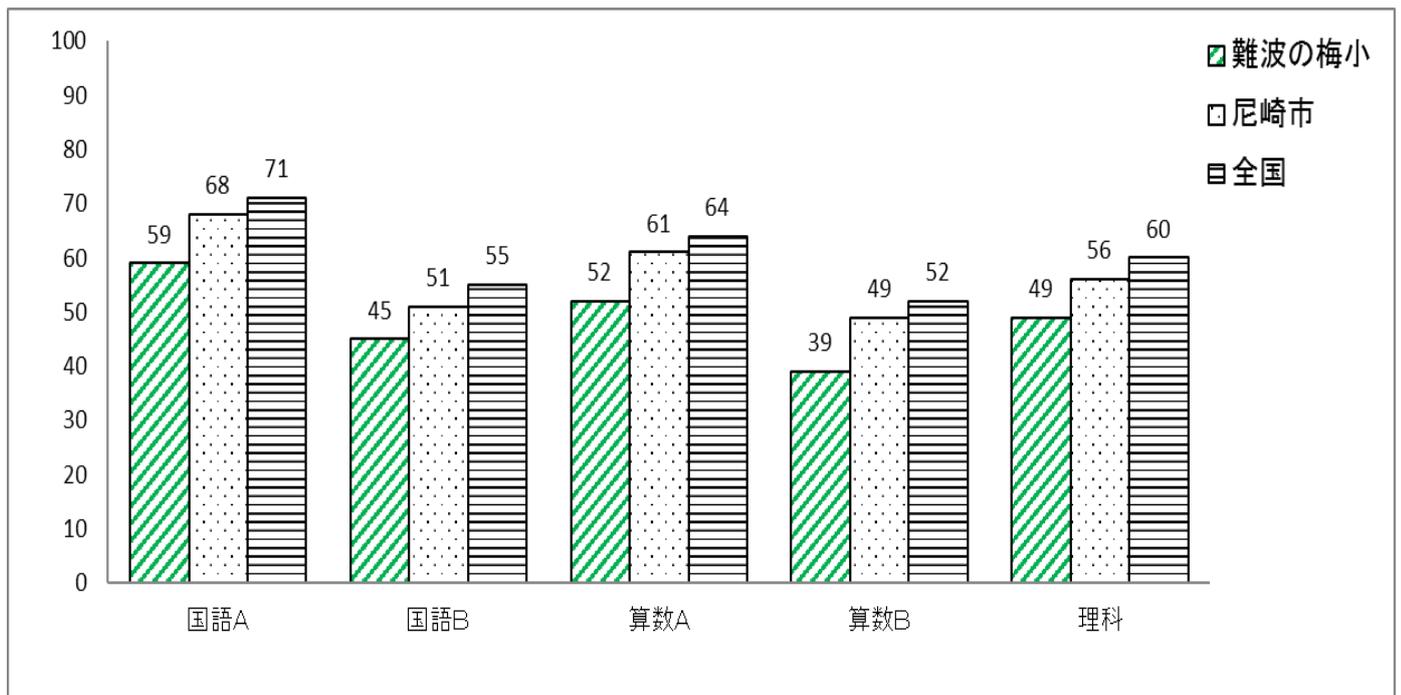
<http://www.ama-net.ed.jp/school/E04/index.html>

全国学力・学習状況調査（平成30年度実施）の結果について

平成30年4月に実施しました「全国学力・学習状況調査」の結果の概況がまとまりましたので、保護者の皆様にお知らせいたします。「全国学力・学習状況調査」とは小学校6年生を対象として、学習の定着度や学習意識、家庭での学習実態を客観的に把握し、今後の学校の指導体制や指導方法の工夫改善、家庭学習の進め方などに生かすために実施されています。結果は、実施学年の限られた教科や生活実態で、学校全体の概要を表すものではありません。しかし、学校としては、結果を真摯に受け止め、基礎学力の定着や基本的な生活習慣の確立をはかるために、これからも具体的な検討を進めてまいりたいと思います。

I 6年生の学力調査（5年生の内容）

1 結果



2 結果の概要

- (1) 国語A 平均正答率は59%で、全国平均との差は12ポイント、市内平均との差は9ポイントでした。
- (2) 国語B 平均正答率は45%で、全国平均との差は10ポイント、市内平均との差は6ポイントでした。
- (3) 算数A 平均正答率は52%で、全国平均との差は12ポイント、市内平均との差は9ポイントでした。
- (4) 算数B 平均正答率は39%で、全国平均との差は13ポイント、市内平均との差は10ポイントでした。
- (5) 理科 平均正答率は49%で、全国平均との差は11ポイント、市内平均との差は7ポイントでした。

3 分析と課題

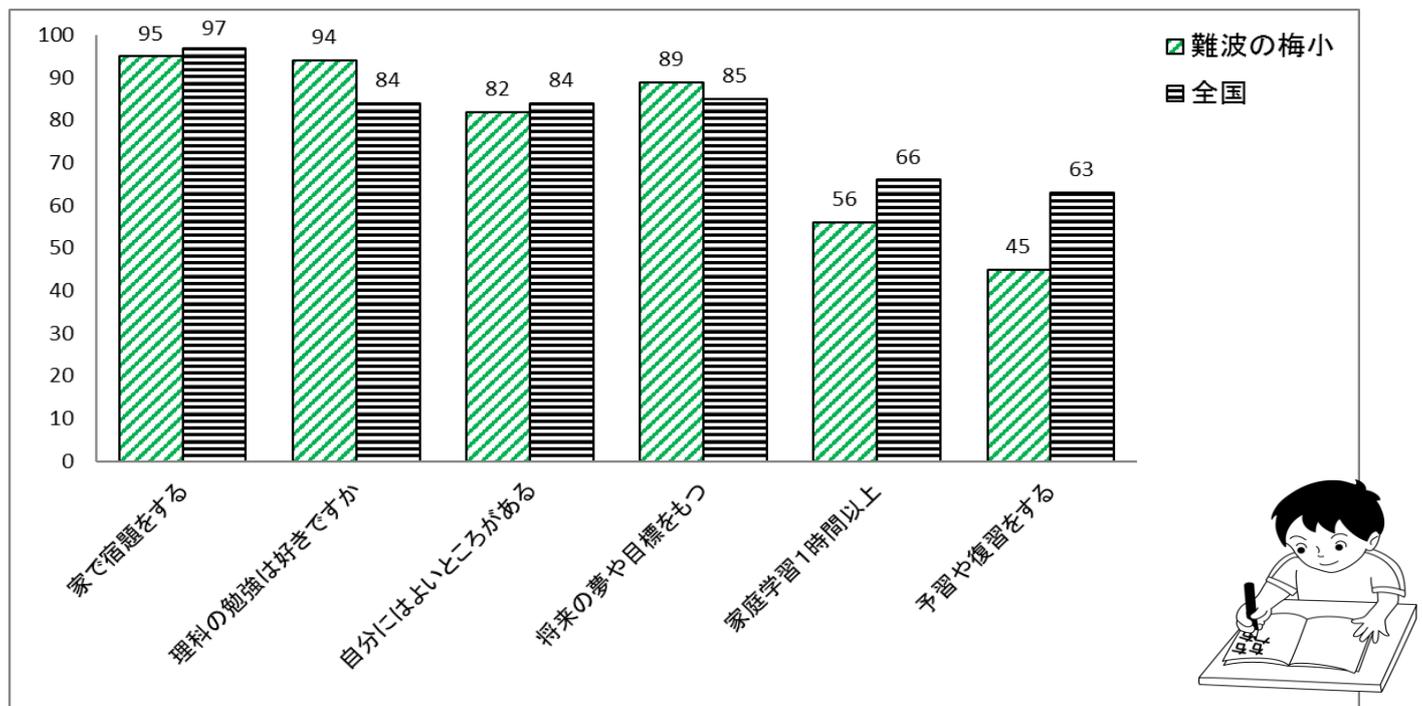
A問題は基礎・基本を見るテスト、B問題はそれらを活用する力を見るテストです。今年度は残念ながら、どの教科も平均正答率が全国平均と差があります。算数については5年生の時、少人数授業や同室複数指導

ができなかったことも原因の一つだと考えています。6年生では少人数授業を完全実施し、不足している学力を補っていきます。

国語や理科についても全国平均と差があります。宿題を含めた家庭学習の習慣については、Ⅱの「学校や家庭での子どもの様子や意識について」からもわかるように身につけてきています。今後は授業のあり方と共に、朝の学習タイムや家庭学習の見直しを進めていきたいと思ひます。

また、放課後学習も引き続き、毎週木曜日に実施し、補充学習が必要な子ども、家庭学習や自主学習ができにくい子どもについての学習の場を設けるようにしていきます。

Ⅱ 学校や家庭での子どもの様子や意識について



このグラフは、学校生活や家庭生活での学習の様子や子どもの意識を表したものです。「家で宿題をする」の項目では、本校は95%の子が家で宿題をすると答えています。全国と比較しても差がなく、本校の児童はきちんと宿題をしていることがわかります。また、「理科の勉強は好き」の項目では94%の児童が好きと答えています。本校の児童は理科の勉強を楽しんでいることがうかがえます。

「自分にはよいところがある」と答えた児童は82%で、これも全国と差はありません。しかも、「将来の夢や目標をもつ」という項目では、本校の児童は89%の子が持っていると答えています。昨年度は自尊感情を育てることが課題の一つでしたが、今年度はこれまでの取り組みもあり、自尊感情については育っていると考えています。

「家庭学習を1時間以上する」と答えた児童が56%と全国と10ポイントの差があります。昨年度と比較すると、本校のポイントはかなり上がってきていますが、全国と比較するとまだ若干差があります。また、「授業の予習や復習をする」と答えた児童が45%と、これは全国と比較すると差を感じます。学校の方では自主学習の取り組みを進めていますので、家庭学習の時間そのものは伸びてきています。しかし、予習や復習という観点での学習については十分ではありませんので、自主学習を含めた家庭学習のやり方についても見直しをしていきたいと思ひます。

おわりに

今後も、難波の梅小学校は全職員が一丸となって、児童のよりよい成長を願ひ、指導に取り組んでまいります。そのためには、保護者の皆様のご協力はもとより、地域の皆様のご協力が必要となります。今後とも、よろしくご協力ご支援くださいますようお願いいたします。